

Title	津村秀松著 国民経済学原論
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1915
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.9, No.1 (1915. 1) ,p.108-
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	批評と紹介
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19150101-0108

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

津村秀松著 『訂正 國民經濟學原論』下卷

大正三年十二月 寶文館發行
菊版八百四十一頁 定價參圓參拾錢

本書の上巻は、本誌前號に於て紹介せるが如く、其初版に比して面目を一新せるものなるが、茲に紹介せんと欲する下巻は尙ほ一層改善せられたる跡歴然たり。著者は初版發行以後に於て公にせられたる歐米の學者の新研究に基づきて下巻の殆んど全部に就きて改訂を施し、統計を補充し、且つ學理の說明を前版よりも一層豊富にせり。其結果として、紙数は初版に比して約百五十頁を増加するに至れり。

内容の改訂増補の主なる一二の點を擧ぐれば、著者は『効用』の部に於て説明を一層明瞭になすと同時に、初版に於て著者が『限界効用説』に與へたる稍々極端なる批評を緩和し更に限界効用に關する一二の說を加へ、『貨幣』の部に於て『クレンシャムの法則』の適用の歴史を新たに述べ、新貨幣數量説を紹介し、『消費』の項に於て二三の新研究を載せたること等なり。

本書の初版は本誌前號に於て述べたるが如く、我國の學者自身の筆に成る經濟原論中に於て或は最も廣く行はれたるものなるが、前版よりも内容の充實せる此新版は吾人の推擧を俟たずして洛陽の紙價を高むるに至る可し。

板倉卓造著 『國民政治讀本』

大正三年十二月慶應義塾出版局發行
菊版二百六十二頁 定價七十錢

本書は立憲政治に關する基礎的知識を我國民間に普及するの目的を以て著はされたるものなり。題して『國民政治讀本』と云へるは蓋し是れが爲めなる可し。されど本書は一般教科書の如く難澁なる術語を羅列せるものに非ずして、玲瓏玉の如き流暢なる口語體を以て、平易簡明に憲法政治の眞髓を説述せり。説明の實例は立憲政體の本場なる英國に之を採り隨處に他國民の經驗を挿み、且つ間々我國の所謂憲法政治の現狀に對して論評を加ふ。

今本書内容の項目の主なるものを擧ぐれば、第一編に於ては英國自由政治の特質を論じ、第二編に於ては代議政治の起源、選舉並に投票の意味、議員と選舉民との關係を叙説し、第三編に於て政黨政治の性質、其運用並に我國に於ける所謂政黨政治の本質等を論述せり。此外に序文の代りとしてバルフォア氏の後を襲ふて、統一黨の首領となりたるボナー・ロイド氏の就任式の光景を叙し、最尾に附録として英國政黨政治の梗概を説述せる一節を加へたり。

本書の記述の體裁は單に上述の如く平易流暢なるに止まらずして、小説家的の潤色を加へたるを以て、本書の讀者は立憲政治に關する一般概念を得て其知識欲を満足せしむると同時に娛樂欲をも併せて充たすことを得可し。著者の快筆はマコーレー氏の英國史を聯想せしめ、シェームスの心理學を追復せしむるものあり。吾人の紹介の如きは要するに蛇足なるのみ。

前號(第九卷)目次 (大正三年十二月號)

論說

- 英佛大小農制度に關するア
ーサー・ヤングの研究(其二)
法學博士 福田 德三
- ベルナルド・ダヴンツァチの
貨幣論(下)
慶應義塾 大學教授 高橋誠一郎
- 慶應義塾 大學教授 西本辰之助
- 手形債務發生の原因
慶應義塾 大學教授

雜錄

- 獨逸の戰時經濟
慶應義塾 大學教授 阿部 秀助
- 歐洲戰亂勃發當時に於ける
倫敦金融市場
慶應義塾 增井 幸雄
- 玉葉の經濟史的研究(下)
慶應義塾 松本彦次郎
- 金爲替本位と印度通貨(二完)
向井 鹿松
- 日本に於ける田地の利廻りと
農民の貯蓄心
高城仙次郎
- 批評と紹介
和田垣博士紀念『經濟論叢』津村秀松著『國民經濟學原論』板倉卓造著『歐洲戰亂の真相と交戦列國』理財學會々報

附錄 『三田學會雜誌』第八卷總目次

編輯主任

堀江 歸一
高城 仙次郎

一冊定價 金三十二錢 郵税金壹錢五厘
一ヶ年前金 金二圓四十錢 郵 稅 共

●編輯及び事務に關する一切の用件は發行所宛
●營業に關する用件は發賣元宛
●原稿締切期日は發行の前月十日限

大正三年十二月廿七日印刷納本
大正四年一月一日發行 行 每月一回一日發行

三田學會雜誌	轉載	禁
第九卷第一號	編輯兼發行者	東京市麻布區富士見町九番地 石田 新太郎
	印刷者	東京市赤坂區新坂町五十九番地 金子 榮太郎
	印刷所	東京市赤坂區新町五丁目四十四番地 金子 活版所

發賣元 東京市麴町區有樂町一丁目一番地 粗山書店

●尙ほ本誌は全國各市雜誌店にて販賣す
振替貯金口座東京三四一七番
電話本局二二三二番

發行所 東京芝三田 慶應義塾内 理財學會